

まつだい

「NIIGATA NEXT VISION FESTA」

に参加しました



【会場入口】

12月26日（金）、アオーレ長岡を会場に「NIIGATA NEXT VISION FESTA」が開催されました。このイベントは、新潟県教育委員会の「令和7年度新潟県探

究・STEAM教育推進事業」の一環として、県内の高校生らが探究活動の成果を共有し、新潟の未来を共に考える場として企画されたものです。

当日は県内各地から多くの高校生が集まり、本校からは「松代の棚田」をテーマに探究を続けてきた2年生4名が参加しました。ポスターセッションにおいて生徒たちは、これまでの調査をもとに「10年後、20年後の松代のあるべき姿」を堂々と発表していました。来場者からの鋭い質問にも一つひとつ丁寧に答え、自分たちの考えをしっかりと発信していました。最初は緊張していた様子でしたが、説明を繰り返すうちに、また、質問に答えるたびに、地域の課題を自分事として捉える主体性が磨かれていくのを強く感じさせる一日となりました。



【ポスターセッションの様子】

第3回松代高校コンソーシアム総会を開催

去る12月9日（火）、「越後妻有地域連携 松代高校コンソーシアム総会」を開催しました。本コンソーシアムは、まつだい地域振興会長を会長、松之山自治振興会長を副会長とし、地元自治体、商工会、NPO法人等の皆様のご協力のもと、本校の「地域探究コース」を推進するために組織されたものです。

総会では、今年度の活動報告に対し、委員の皆様から多角的な視点で貴重なご意見・ご提案をいただきました。特に就業体験やボランティア活動については、「受け入れた生徒が来春正式採用となった」「農業体験などで協力できる」といった心強いお言葉をいただきました。また、商工会からは「就業体験の際、事業所選定に協力したい」といった具体的な協力に関する意見もいただきました。

学習内容の深化については、「体験だけで終わらせず、地域の歴史や成立ちを学ぶことが郷土愛につながる」「大棟山美術館（坂口安吾関連等）などの文化資源を活用しては」といった、探究の質を高めるための具体的な助言もいただきました。また、「棚田のカレンダー作り」などの新たなアイデアや、今年度から実施している県内「地域探究コース」を設置している4校間による連携活動への期待も寄せられました。

今回の総会でいただいた「地域との連携をさらに強化したい」という温かいお言葉を真摯に受け止め、次年度以降も、より一層地域に根ざした教育活動を展開していきたいと思っております。

クロスカントリースキー授業を開始



【V字で坂を登る様子】



【笑顔での休憩】

毎年、本校1年生の3学期における体育の授業では、地域の特徴を活かした「クロスカントリースキー」を実施しています。今シーズンも十分な積雪に恵まれ、一面の銀世界となった絶好のコンディションの中で、予定通り授業をスタートすることができました。生徒たちは、本校グラウンドと隣接する松代総合体育館の敷地に整備された専用コースを舞台に、冬の澄み切った空気を感じながら力強く雪原を滑走していました。最初は慣れないスキー板の操作に苦戦する姿も見られましたが、練習を重ねるごとにスムーズな足運びとなり、今では松代地域の大自然が作り出す白銀のパノラマを楽しみながら、それぞれのペースで心地よい汗を流している様子です。こうした活動を通じて、冬の自然に親しむとともに、寒さに負けない体力と健やかな心身を育ててほしいと願っています。

生徒たちは、本校グラウンドと隣接する松代総合体育館の敷地に整備された専用コースを舞台に、冬の澄み切った空気を感じながら力強く雪原を滑走していました。最初は慣れないスキー板の操作に苦戦する姿も見られましたが、練習を重ねるごとにスムーズな足運びとなり、今では松代地域の大自然が作り出す白銀のパノラマを楽しみながら、それぞれのペースで心地よい汗を流している様子です。こうした活動を通じて、冬の自然に親しむとともに、寒さに負けない体力と健やかな心身を育ててほしいと願っています。



【HP】 <https://matsudai-h.nein.ed.jp/>
学校の情報、緊急連絡等を掲載しています。

【note】 <https://matsudai-hs.note.jp/>
日常の学校生活を紹介しています。



〈ホームページ〉



〈note〉

新潟日報「窓きらきらキラリ」より

新潟日報の読者投稿欄「窓きらきらキラリ」に本校生徒の作品が掲載されました。本校では、3年「国語表現」の授業の一環として毎年取り組んでいます。

「合唱部 少人数でも楽しく」 野本星夏さん

私は高校で三年間、合唱部に所属しました。最初から最後まで少人数でした。

私は、合唱部に入りたくて高校に入学しました。そして念願の合唱部に入部しました。そうしたら先輩が一人だけでした。人数が少なくても驚きました。私は友達と二人で入り、三人で合唱なんだと思いました。

こんなに少ないのは初めてでドキドキしながら始めました。まず、歌う前にお茶タイムです。飲み物とお菓子を楽めます。それから声だしをして、歌い始めます。

文化祭の時に発表する歌を決め練習します。毎年違う曲で、私は三年間アルトパートです。ピアノとソプラノの音を聞いて歌いますが、私はつられやすくてすてきです。特に一年生の時は、ずれてしまいバラバラになってしまいました。

二、三年で、ずれないようにたくさん練習しました。完璧とはいきませんでしたが、よくなりました。

三年間、少人数でも最後まで楽しく歌うことができて良かったです。(1月12日掲載)

「協力と努力 書道から喜び」 志賀夏美さん

私が高校生活でがんばったことは、二つあります。

一つ目は部活動です。私は書道部に所属していて、文化祭で大きな共同作品を制作しました。いつもは半紙に書いているため、最初大きい紙に書いた時は、文字のバランスや大きさを失敗してしまいました。でも、講師の先生に話を聞いたり、先輩や仲間と話し合いをしたりして無事文化祭で展示することができました。この経験を通して、協力することの大切さと努力が形になる喜びを実感しました。

二つ目は学業です。私は、英語が好きで文法や単語を覚えるために一生懸命勉強していましたが、数学が苦手であまり勉強に力を入れられませんでした。この時、苦手から逃げてしまったことを後悔しています。これからはこの後悔を自分の経験にできるようにがんばりたいです。

私は将来介護福祉士として働くために大学に行き、必要な知識を身につけ、さまざまな経験を積みたいと思っています。そして、私をいつも支えてくれている家族や仲間へ何か恩返しできるようにがんばりたいです。(1月28日掲載)